

平成 24 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー
 代 表 者 名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
 吉 田 博 昭
 (J A S D A Q ・ コード番号 : 4358)
 問 い 合 わ せ 先 常務取締役 経営戦略本部長 上 窪 弘 晃
 電 話 番 号 03-5434-1586

業績予想の修正及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 9 月 15 日に公表いたしました平成 24 年 7 月期の業績予想の修正ならびに繰延税金資産の計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 7 月期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	24,000	1,200	700	450	円 銭 7.53
今回修正 (B)	24,000	1,450	1,050	850	14.23
増減額 (B - A)	—	250	350	400	—
増 減 率	—	20.8%	50.0%	88.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 7 月期)	22,642	1,213	906	688	14.16

2. 修正の理由

当社が事業を展開している広告業界におきましては、TV-CMを中心に需要が堅調に推移しております。そのような業界環境のもと、営業利益につきましては、大手制作会社の強みを活かした営業展開、クリエイティブ力を武器にTV-CM事業が堅実に利益を確保している事、及びマーケティング・コミュニケーション事業における不採算部門の閉鎖・撤退及び収益管理の徹底による収益力強化、新規案件獲得が奏功している事により、前回予想より 250 百万円増の 1,450 百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、昨年 8 月 5 日付けで締結したシンジケートローン契約に伴う 198 百万円の手料を営業外費用として一括計上したものの、上述の営業利益と同様の増加要因により、予想より 350 百万円増の 1,050 百万円となる見込みです。

また、当期純利益につきましても、昨年 12 月に Great Works AB (スウェーデン) を MBO により連結除外した事に伴って 306 百万円の特別損失を計上したものの、上述の経常利益と同様の増加要因、及び下記の通り、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴い法人税等調整額として△209 百万円の発生が見込まれる事により、創業以来最高の当期純利益を達成した平成 23 年 7 月期の 688 百万円より 162 百万円増、前回予想より 400 百万円増の 850 百万円となる見込みです。

3. 繰延税金資産の計上について

最近の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性について見直しを行った結果、将来にわたり課税所得の発生が見込まれることから、平成 24 年 7 月期第 3 四半期決算において、法人税等調整額として△209 百万円が発生する見込みとなりました。

以上